

茅ヶ崎海水浴場に関する打合せ会議（海水浴場組合） 概要

- 1 開催日時 平成18年11月13日（木）18：30～20：30
- 2 場 所 市役所分庁舎E会議室
- 3 出席者 海水浴場組合4名、産業振興課2名、海浜課1名、企画調整課3名
- 4 会議概要

事務局より趣旨説明を行った後、意見交換を行った。

(1) 主な意見等

- ・茅ヶ崎には半農半漁の歴史がある。昭和30年代は家がなかった。茅ヶ崎を開拓してきた市民を尊重してほしい。
 - ・漁港がいないという声もあるようだが、半農半漁の歴史で今に至っている。理解できない。
 - ・後ろには駐車場が控えているが、駐車場がなければ海の家はできない。しかし、海の家は、これ以上下がることはできない。
 - ・現在の海の家は風にも強く、経費面においても個人で開業するには不足はない。
 - ・昔から変わらない海の家で、親が子を子がまたその子を連れてくる。その人たちは、「このままがいい」と言ってくれる。海を家の材料は、60年使っているが、毎年来る人は、「海に来たなあ」、「これがいい」と言う人が結構いる。
 - ・海の家は、個人が開いているから江の島のような形は取れない。
 - ・駐車場が北側に来たら、漁港の車は中に入るのか。
 - ・駐車場に車が入るピークはお盆の週末である。この時期は、駐車場に入れられない車で一杯になる。駐車場のボリュームは、この時期を考慮すべきである。
 - ・かつては、海の家が20軒7,000㎡という時期もあったようだが、海を家の今後の増減の見込みについてはいかがか。
- 今は増やさない方針だが、減らすこともない。
- ・共同経営については、どう考えるか。
- 共同を嫌う声もある。しかし、共同化により新たな施設となれば、台風で損壊する心配もなくなるだろう。
- ・茅ヶ崎の海水浴場は（砂が）汚いと言われるが、駐車場の土が流れて汚れてしまうから。「茅ヶ崎が昔の砂に戻ったよ」と言えば良いコピーになる。
 - ・みんなが納得する駐車場ときれいな砂を作る必要がある。
 - ・西浜駐車場は、売却されてマンションができると地元では言われている。
 - ・海水浴場から離れた場所に駐車場があることについては、いかがか。
- バスなどを使って、ピストンすればよい。
- ・国道を広げ、海からは浸食があり、両側から攻められている。サイクリングロードがいないという人もいる。
 - ・サイクリングロードは、津波の際の来場者の逃げ場を塞いでいる。海の家は、サイクリングロードに上がるための階段を作っている。
- サイクリングロードの形態も課題である。
- ・トイレについて。茅ヶ崎は遅れている。有料でもいいから作ってほしい。来場者からもいつできるのかと聞かれる。

(2) 確認事項等

- ・組合員全員が同席し、意見をいただくとともに、新たな海水浴場のあり方について研究する場を設けることとする。